

本時のねらい

- ・既知の情報をもとに、自分の考えを明確にし、どんな七味唐辛子を作るのか、発表ノートを活用し、伝えることができる。
- ・異なる意見を比べ、そのメリットデメリットを比較し、自分なりに判断することができる。
- ・自分の考えを進んで伝えようとする。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・前時までに解き明かしてきた情報をもとに、自分たちなりに作りたいと考える「七味とんがらし」についてプレゼンテーションをする。SKY MENU Classの「グループ化」機能を活用することで、ペアで同じスライドを作っていくことができ、既知の情報を複数で検討しながらまとめることができる。
- ・各グループのプレゼンテーションを吟味し、アイデアを絞っていく場面では、発表ノートで「観点別吟味表」を配付する。3つのプレゼンテーションを様々な観点から吟味していくことで、多面的・多角的な思考力を育成するのがねらいである。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレットPC
- ・SKY MENU Classの発表ノート
- ・スクリーン（プロジェクター）
- ・オリジナル教材「観点別吟味表」
（観点ごとに一番良いプレゼンテーションを選ぶことができるように、選んだ枠に観点カードを動かして評価するシート）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のめあてを確認する。 「自分たちのつくりたい【究極の七味とんがらし】を決めよう！」 ○決めていく上での大切な「5つの観点」を確認する。 ⇒「テーマ」「相手」「理由」「特色」「根拠」 ○3グループが「究極の七味とんがらし」のプレゼンテーションを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクリーンにプレゼンテーション資料を投影する。マーカーやポインターを活用し、相手に伝わるプレゼンテーションを意識させる。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○各グループのプレゼンテーションを吟味し、「いいね」と「気になる」を出し合う。 ○判断材料を多くもつため「観点別吟味表」を配付。多面的に吟味する。 ○「究極の七味とんがらし」を選んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いいね」と「気になる」を出し合うが、その根拠として、過去の発表ノートのデータを参考にさせる。 ・発表ノートで「観点別吟味表」を配付。様々な観点カードをグループピングしていく。 ・「観点別吟味表」をスクリーンに分割提示し、比較材料にする。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○次時以降の学習活動を伝える。 ○今日の学習で学んだことを発表する。 	

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：プレゼンテーションを行っている場面（導入）



写真2：プレゼンテーションの内容から「いいね」「気になる」をタブレットで確認している場面（展開）



写真3：メモを見ながら、「観点別吟味表」を操作している場面（展開）

児童生徒の反応や変容

導入としてプレゼンテーションを行い、それを吟味し、選んでいく授業だったため、他グループのプレゼンテーションを聞き漏らさないようしっかり聞き、考える材料にしていた。前時までの調べ学習の資料や本時のプレゼンテーションなど、多くのデータを発表ノートで共有していたため、考える「根拠」として、いつでもデータに戻れるという利点があり、児童は各自でそれを活用していた。また、スクリーンで各自の考えを共有することで、比較検討する一助となった。児童はタブレット上で操作をしながら自身の考えを広げたり、整理したり、深めたりしていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

プレゼンテーションを導入に行い、課題提示の役割を果たすよう展開した。その課題を解決するために、多面的・多角的なものの見方ができるよう「観点別吟味表」を活用し、観点ごとにプレゼンテーションを評価した。さまざまな観点で物事を捉えると、良い点や改善点が明確になってくることが、体感させることができた。